

# リンゴ・モモ共通防除体系の改良

福島県農業総合センター 果樹研究所病害虫科

## 1 部門名

果樹—リンゴ、モモ—病害虫防除

## 2 担当者

柳沼久美子・七海隆之

## 3 要旨

2009年にリンゴ・モモ共通防除が策定された。本体系は梅雨期に薬剤耐性菌出現のおそれがある殺菌剤(QoI剤＝ナリアWDG)を連用する体系であったため、QoI剤を連用しない新規改良体系(表1)について検討した結果、リンゴ、モモともにQoI剤の散布回数を削減しても、主要病害に対して慣行共通防除と同程度の防除効果が得られた。

- (1) リンゴの新梢葉病害に対しては、慣行共通防除と同程度の防除効果であった(データ省略)。果実病害に対しては、輪紋病で慣行と同程度～やや劣る防除効果であった(図1)。炭疽病は無散布区でも発生がみられなかった(データ省略)。
- (2) モモのせん孔細菌病を除く果実病害に対しては、灰星病、ホモプシス腐敗病ともに慣行と同程度の防除効果であった(図2、図3)。

表1 新規改良共通防除体系

(殺菌剤のみ、リンゴ・モモ共通)

散布日	供試薬剤	希釈倍数
3月20日	石灰硫黄合剤	10倍
4月25日	チオノックフロアブル	500倍
5月8日	デランフロアブル	1,000倍
5月20日	チオノックフロアブル	500倍
6月5日	デランフロアブル	1,000倍
6月20日	ダコニール1000	1,000倍
6月30日	ナリアWDG	2,000倍
7月15日	ベルコート水和剤	1,000倍
	トップジンM水和剤	1,500倍
7月30日	オンリーワンフロアブル	2,000倍
8月15日	ベルコート水和剤	1,000倍
8月30日	ナリアWDG	2,000倍
9月15日	オーソサイド水和剤80	600倍

※4月25日はリンゴのみDMI剤を追加する。

※9月15日はリンゴのみ。

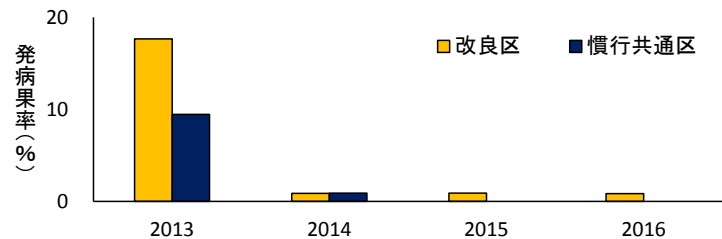


図1 リンゴ輪紋病の発生状況(保存調査)

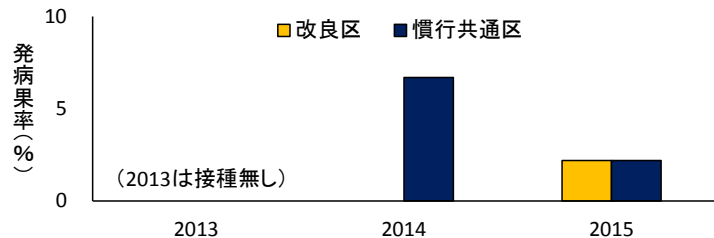


図2 モモ灰星病の発生状況(保存・接種調査)

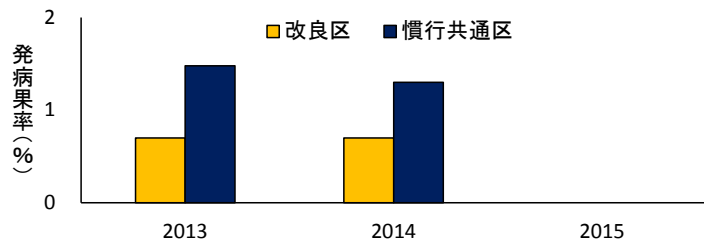


図3 モモホモプシス腐敗病の発生状況(保存調査)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成25年度～28年度
- (2) 研究課題名 リンゴ・モモ共通防除体系の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (終了参考)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度普及成果 リンゴとモモの共通防除の策定
- (2) リンゴとモモにおける共通防除体系の構築 第1報 共通防除体系の主要病害に対する防除効果  
北日本病害虫研究会報第62号(2011年)